

地元の工務店、構造家とモックアップの検討



2本ペアの柱、横架材全てが120角で構成されている

## 木質 mono struct 構法の提案

吉野松120角のみで構造を構成する

### 「上品寺町の家」

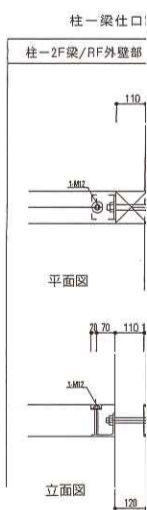
じょうぼんじちょう

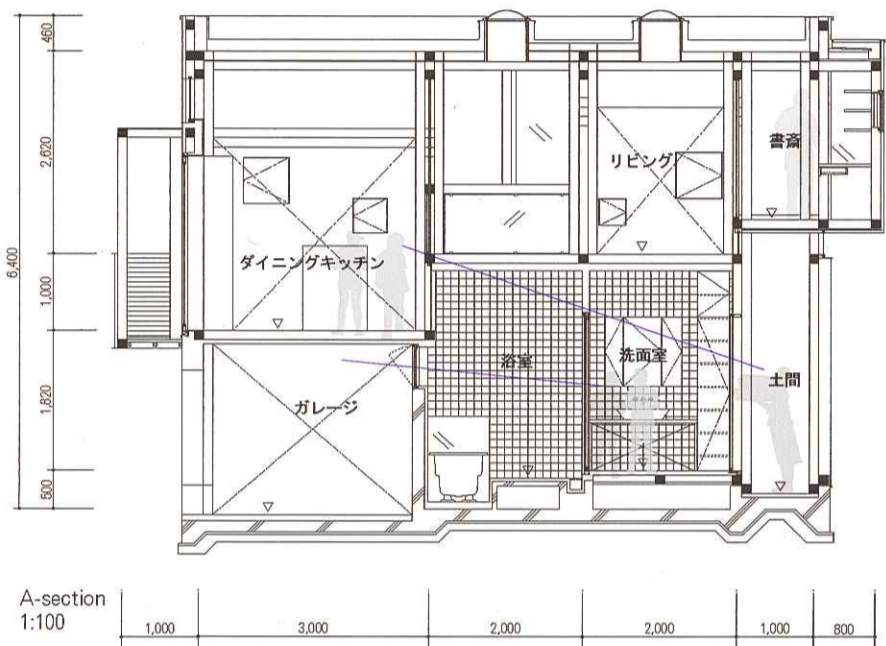
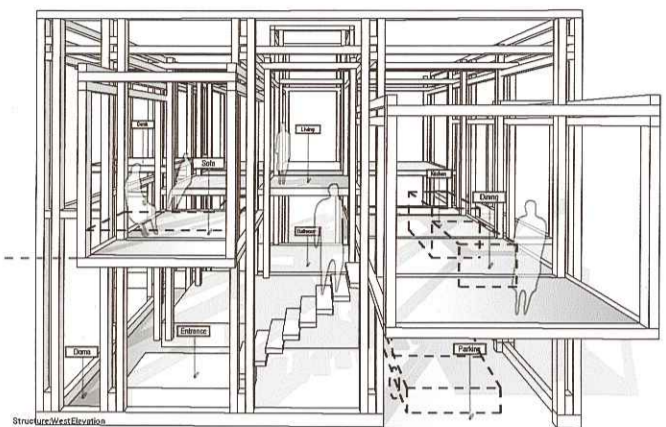
[コンセプト] 地場産材の新しい展開に向けて

明治以降、日本の育林業のモデルとなってきた、「吉野林業 奈良県川上村、黒滝村、東吉野村の三村の林業地帯を指して 集積地である桜井市がある。この住宅を計画した奈良県橿原市 している。施主の友人が吉野材を扱っている材木業者であり、 すべての材を 120角の松 で統一し、それをボルトのみでジョイントする。柱をすべて二本一組の通し柱と横架材を挟み込みボルトで固定する形で建築を構成した。それにスライドさせる事により、各室の床レベルをそれぞれ自由を間仕切る代わりに、二階は4つの異なる高さのフロアで各メリットとしては材の単一化による生産の合理化。それによ ボルトジョイントによる施工の単純化。材積は大きくなるが、 ホールダウン金物で基礎に固定し、耐震強度をより高めた。 デザイン的にはシンプルでスリムな材で構成することにより、 展開出来るものになっている。

#### [建築概要]

- ・ 建築地 奈良県橿原市上品寺町
- ・ 地域 第一種住居、埋蔵文化財地域内
- ・ 用途 専用住宅
- ・ 家族構成 夫婦・子供2人
- ・ 構造・規模 木造、地上2階建
- ・ 敷地面積 113.16㎡ (34.23 坪)
- ・ 建築面積 67.82㎡ (20.52 坪)
- ・ 建ぺい率 59.93 % < 60%
- ・ 各階面積 1 F 45.00㎡  
2 F 63.09㎡
- ・ 延床面積 108.09㎡ (32.70 坪)
- ・ 容積率 95.51 % < 184%
- ・ 設計期間 2006.7 ~ 2007.1
- ・ 工事期間 2007.1 ~ 2007.8
- ・ 竣工 2007.8





案

「木業地域」とは、一般的には  
 している。その北部に製材所  
 豊原市は、桜井市の西に位置  
 あり、そこで柱、梁、桁、  
 ジョイントする構法を試みた。  
 主とし、向きを南北方向に揃え  
 そのため120角の材を、上下  
 自由に設定する事ができ、部屋  
 で各室の領域を構成している。  
 による発注単価の圧縮。  
 るが、2本一組の通し柱を全て  
 した。  
 より、現代建築空間に木造を

